

聳島視察会

ハンドブック

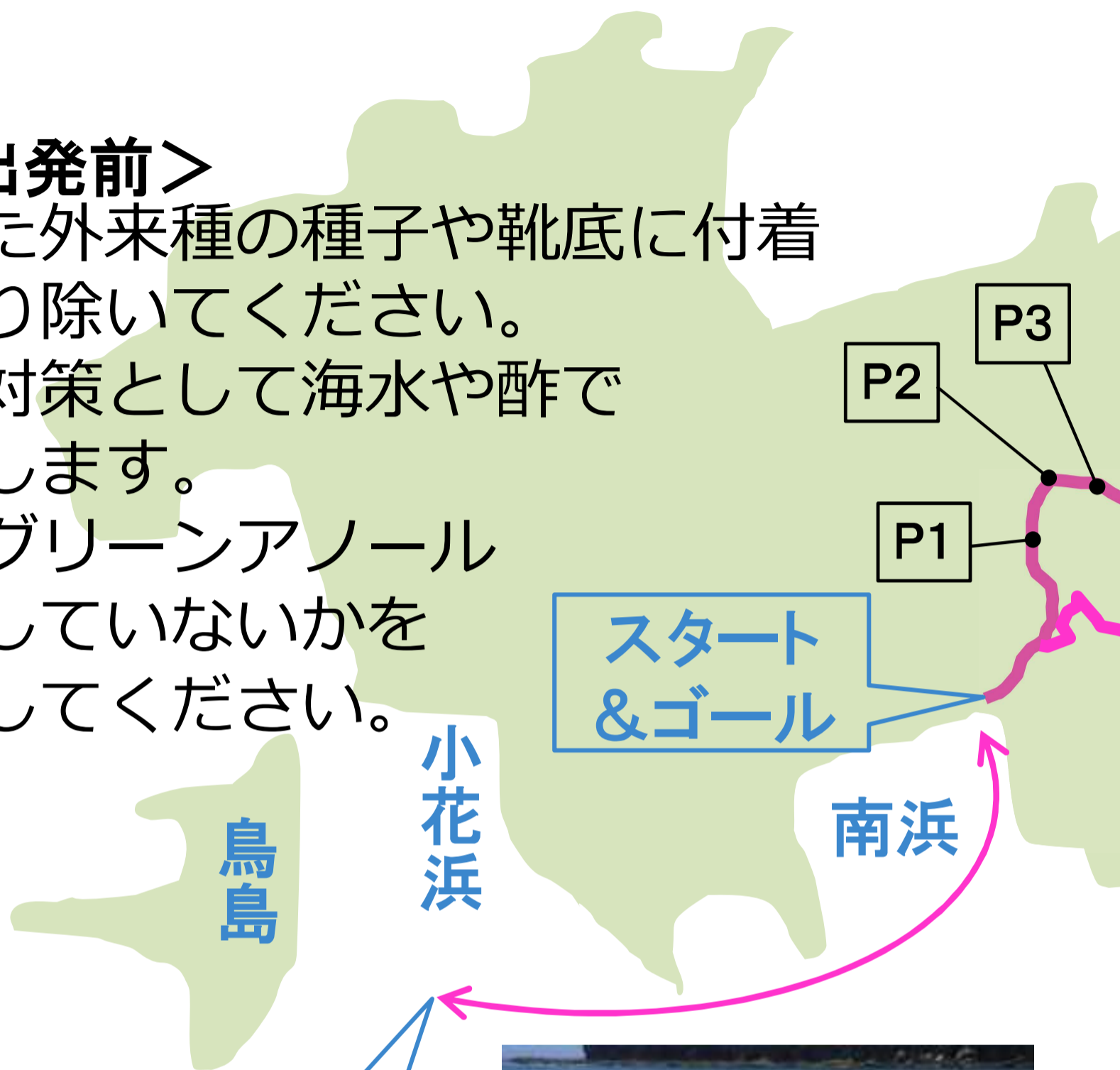
令和4年
▶ 世界自然遺産管理機関
現地事務局

今日歩くコース

【注意事項】

＜青灯台から出発前＞

- ・衣服についた外来種の種子や靴底に付着した泥を取り除いてください。
- ・プラナリア対策として海水や酢で靴底を洗浄します。
- ・荷物などにグリーンアノールなどが混入していないかを確認してください。



船の
係留地点



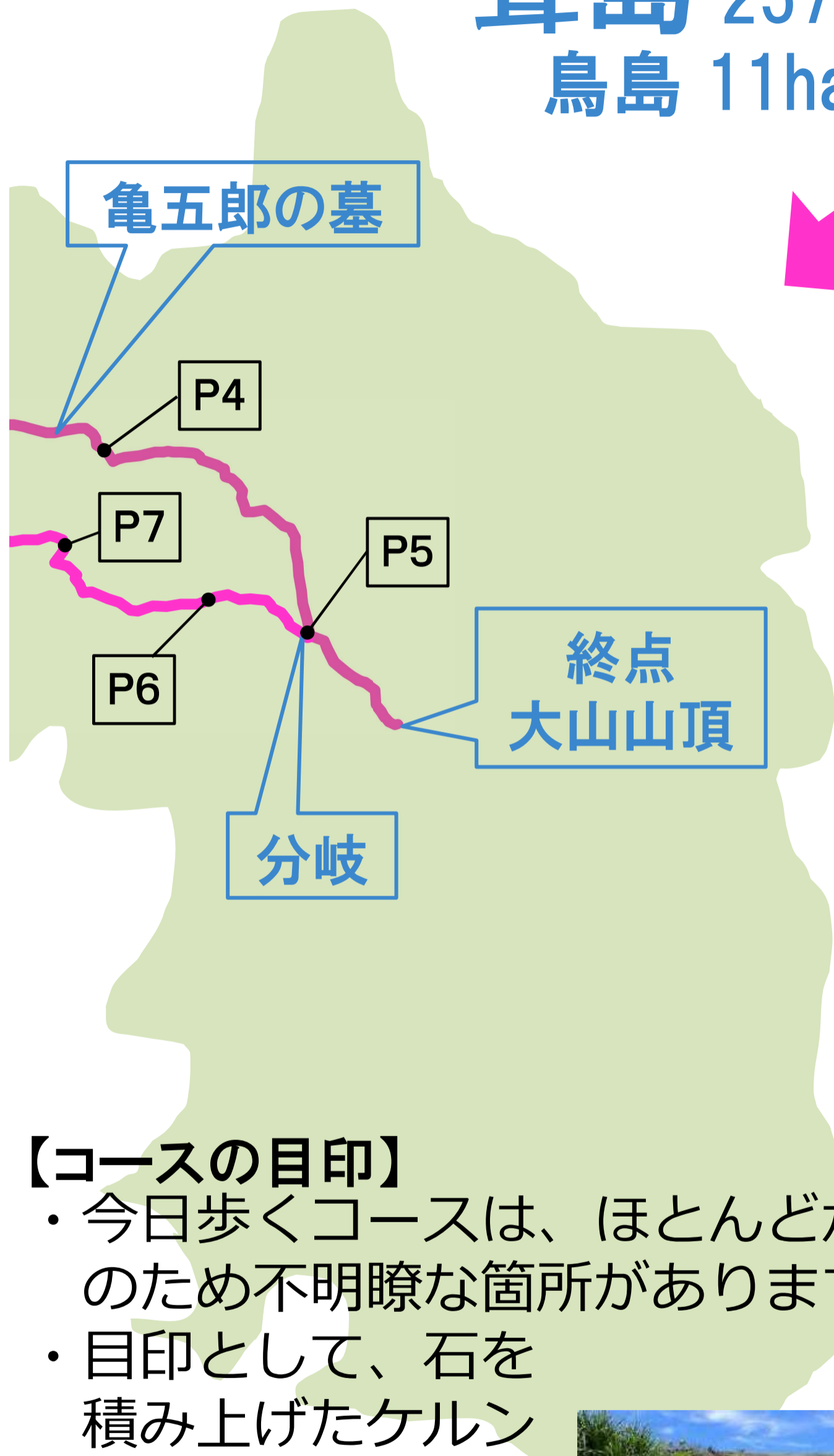
＜上陸時＞

- ・上陸する南浜とその周辺には、小笠原固有のオガサワラスナハキバチが生息しています。
- ・営巣地への踏圧による影響を避けるため、先頭のスタッフと同じルートを歩いてください。

＜帰路時＞

- ・聳島からの乗船時も衣服や荷物に種子等の付着がないか、十分な確認・除去をお願いします。

智島 257ha
鳥島 11ha



【コースの目印】

- ・ 今日歩くコースは、ほとんどが草地のため不明瞭な箇所があります。
- ・ 目印として、石を積み上げたケルン（P1～7）を所々に設置しています。



今日のみどころ

今日歩くコースは、小笠原諸島森林生態系保護地域の指定ルートです。普段の利用については、講習を受講した者が同行すれば利用可能です。

聳島は、父島から約70km離れた無人島であることから、慎重な議論を経て指定ルート化された経緯があります。

オガサワラスナハキバチ

- ・ 体長 8mm程度、全身は黒い
 - ・ 巣は砂地に 2～3mmの穴
 - ・ 名前の由来は巣穴を掘る際に前足で砂を掃くような仕草から
 - ・ 営巣範囲を転石で囲い明示
- 転石の中には立ち入らないでください
- ・ 転石区域外でも生息している可能性
- 巣穴を踏み荒さないよう十分注意してください



3 巣穴の様子



転石の設置状況

指定ルートでの管理

ケルンの点検・設置やコース沿いに繁茂するセンダングサやランタナの駆除が抜き取り等の指定ルートでの管理作業を、年に1回程度、林野庁の皆さんで行っています。

鳥での拡散もありますが、特にセンダングサの種子は衣服へ付着しますので、コースを歩いた後は、これらの外来種が拡散しないよう、付着した種子等の除去にご協力をお願いします。



外来種駆除作業の様子



ケルンを設置している様子

10年前



現在



聳島ってこんなところ①

翼で飛んでヨク着いた



←雛
クロアシ
アホウドリ
↓成鳥



←
コアホウドリ

アホウドリ類3種がそろいぶみ

アホウドリの繁殖地形成

2009

対象個体の自立



累積移動距離
26,000km以上確認

2011

対象個体の移送
先への帰還



2008年に聳島から
巣立ったY01 (3歳)
初飛来

201

対象個
先での
(第2世)



2009年に
巣立った
野生個体
媒島で初



カツオドリの雛★



オナガミズ★
ナギドリ

写真提供
★ (NPO) 小笠原
自然文化研究所



アナドリの雛★
(写真は媒島個体)



アホウドリのデコイサイト

3-14

体の移送
繁殖成功
代の誕生)



に聳島から
とY11と鳥島
本のペアが
初繁殖成功

2017

第2世代の移送
先への帰還



左の個体M170
(3歳) が初飛来
翌年、2019年には
Y75も帰還

2021-22

第2世代の移送
先での繁殖成功
(第3世代の誕生)



Y75と足環なし
(成鳥)がペアになり
繁殖成功
(2022,2時点)

聳島ってこんなところ②

マイマイのイマ

- ・外来種によって生息環境が劣化した
→ ヤギ・ネズミ根絶後に
→ 個体数・種多様性が増加
→ 生息環境が回復傾向の可能性あり



トライオンノミガイ●



オガサワラノミガイ★

ボニンスナガイ★

ボニンキビ★

キビオカチグサ★

エリマキガイ★

ヒメコハクガイ★

ユニークな森の礎

- ・草原の中にモクタチバナなどの森林植生が点在
→ 林内には陸産貝類・昆虫類が生息
- ・低木のシマザクラや匍匐性のハマゴウなどの
海岸植生がヤギ・ネズミ根絶後に回復
→ 訪花性昆虫ハナバチ類の大規模個体群を確認
- ・ネズミ根絶達成後、在来樹木のシロツブ
(トゲのあるマメ科木本) が分布拡大
→ 在来植生への被覆・海鳥類の繁殖阻害が発生



7 草原に点在する樹木



開花したシマザクラ



シロツブ



東京都庁 @tocho_k

【都政ニュー
小笠原諸島
見され「ム
た。これまで
と混同されて
り、新種であ
metro.tokyo

新種発見



午後7:16 · 2020年7

78件のリツイート

虫たちをムシしない

・ 聳島列島最多の489種
(うち23種は希少種)
の昆虫類を確認



アサヒナハキリバチ●



スジヒメ●
カタゾウムシ



ツマベニタマムシ●



イケダメン●
ハナバチ



ベニヒメトンボ●



ルリカメムシ●



オガサワライトトンボ●



ツヤマルハナバチ●



ハマダンゴムシ●

写真提供
● (一財) 自然環境研究センター
★ (NPO) 小笠原自然文化研究所

それは
都レンジャーの
つぶやきから始まった。

News

聳島列島初
の固有植物を
聳島で発見！
ムコジマ
マンネングサ
と命名



父島や兄島に
生育するムニ
ンタイトゴメ
(右写真)と
同じだと思わ
れていた



聳島で起こっているコト①

ノヤギによる植物への食害



媒島 1997年4月

ノヤギ排除事業



根絶9年後 2008年9月

これまでのノヤギ排除実績

西暦 年度		1997 H9	1998 H10	1999 H11	2000 H12	2001 H13	2002 H14	2003 H15	2004 H16	2005 H17	2006 H18	2007 H19	2008 H20
聳島 列島	媒島	136	137	144									
	嫁島				79	2							
	聳島				656	265	17	2					
父島 列島	西島						39	2					
	兄島								78	161	87	61	
	弟島												197
	父島	67	113	62	160	107	166	104	234	147	328	300	258
9	合計	203	250	206	895	374	222	108	312	308	415	361	455

ノヤギ根絶後…

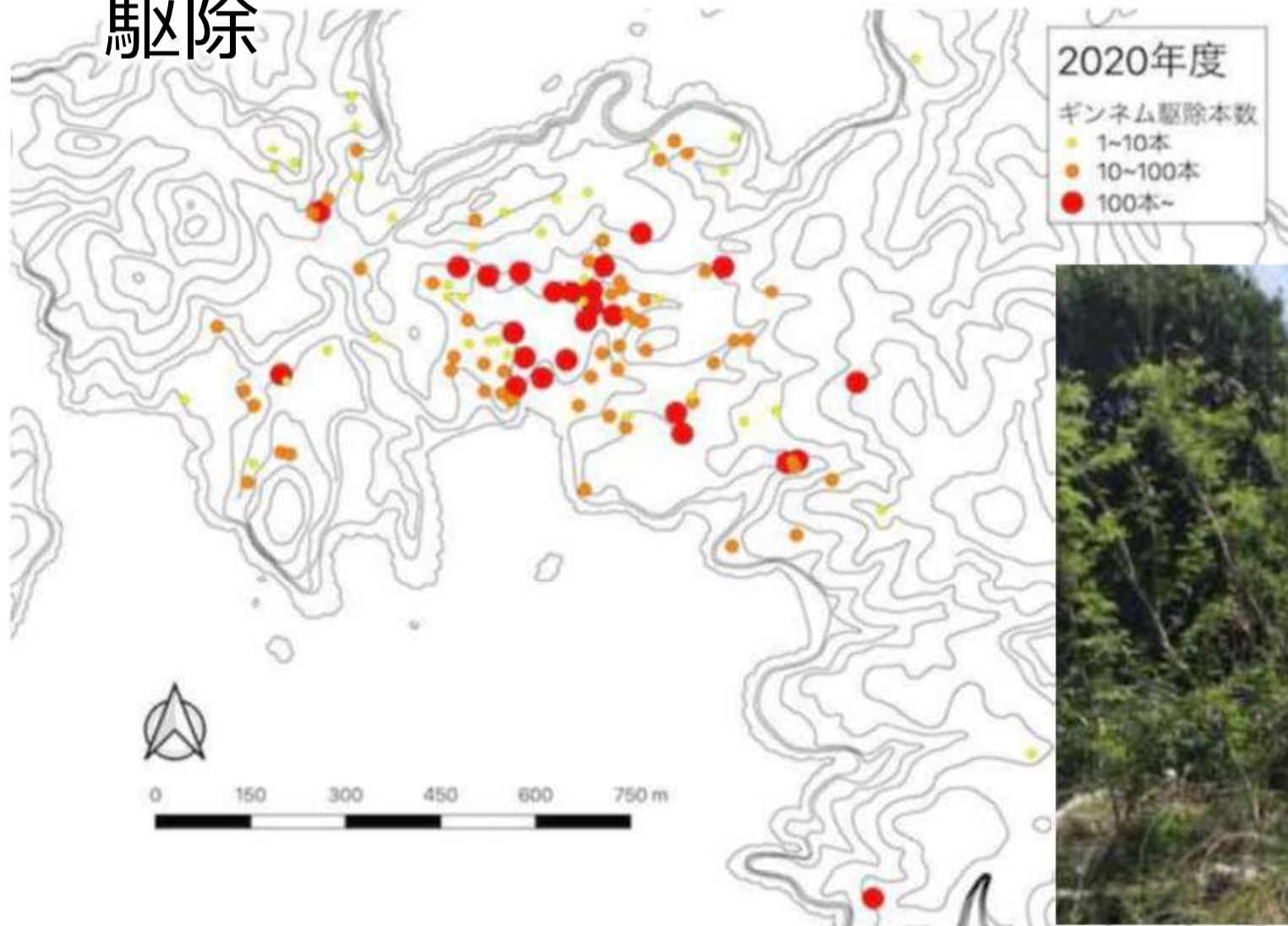
= 植物のノヤギによる
採食圧からの解放

在来樹木の低木
シマザクラの増加↓



外来樹木のギンネムの
分布拡大

→ 2018~2020年で延べ
50,812本のギンネムを
駆除



2020年度
ギンネム駆除本数
● 1~10本
● 10~100本
● 100本~



ギンネム駆除エリア(2020年度)

ギンネム

2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 R2	2021 R3	合計 合計
													417
													81
													940
													41
													387
98	7												302
233	385	694	515	436	445	295	162	156	188	344	308	481	6688
331	392	694	515	436	445	295	162	156	188	344	308	481	8856

聳島で起こっているコト②

ネズミによる植物・海鳥への食害

- ・ 種子等への苛烈な食害 → 植物の更新阻害
- ・ 卵、雛、親鳥への捕食 → 小型鳥類等の繁殖



殺鼠剤散布によるネズミ駆除

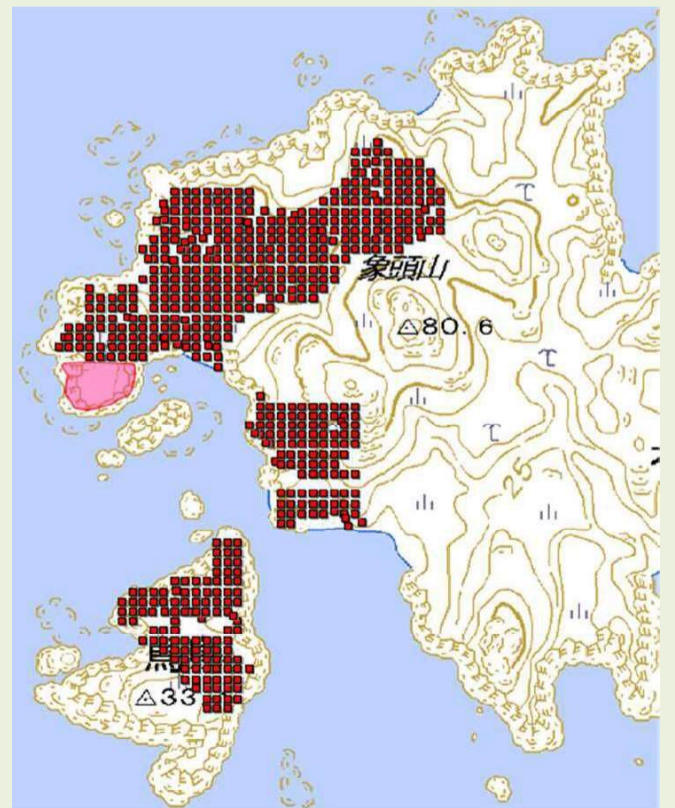
- ・ 2008年8月に1回 (11kg/ha) のみ空中散布 → 翌年5月にネズミの生息確認
- ・ 2010年1月に3回 (計30~40kg/ha) 散布し、アホウドリの繁殖地周辺や塚に手撒き散布



スローパック
に入った殺鼠剤



空中散布の軌跡



手撒き散布実施場所
(アホウドリの繁殖地)



ヘリによる散布

**ネズミ根絶
達成！**

UMIGOMI

世界のどこかの海で誰かが捨てたゴミは、海上を漂い、聳島にも流れ着き、“海ゴミ”に
→生き物に様々な影響



小笠原諸島海岸漂着物
推進計画（2013年
東京都）にて、聳島の
漂着物と回収対策の
状況を整理



海岸清掃

- ・ マリンワーカー事業（環境省）
 - ・ 漁協による海岸清掃（水産庁の交付金利用）
- 近年、どちらの取組も聳島では未実施



マリンワーカー事業による
小花浜の清掃作業(2014年) 12

他の島をちょっと紹介

媒島 137ha
鳥島 3ha



媒島の様子

【植生回復の取組経緯】

1999年 ノヤギ排除完了

2000年 植生復元事業開始

2018年 ネズミ駆除開始

(手撒き散布とベイト
ステーション設置の併用)

↓

2021年 ネズミ駆除完了



アカガシラカラスバトの
撮影回数

ノヤギ・ネズミがいなくなると



媒島のネズミ用のセンサーカメラ
に写ったアカガシラカラスバトの
13 繁殖行動(枝運び)



オオハマギキョウ

タコノキの実の
食害がなくなり、
実生が多数発生



嫁島 85ha 付属島 計25ha



殺鼠剤散布作業の様子

【植生回復の 取組経緯】

2001年 ノヤギ排除完了

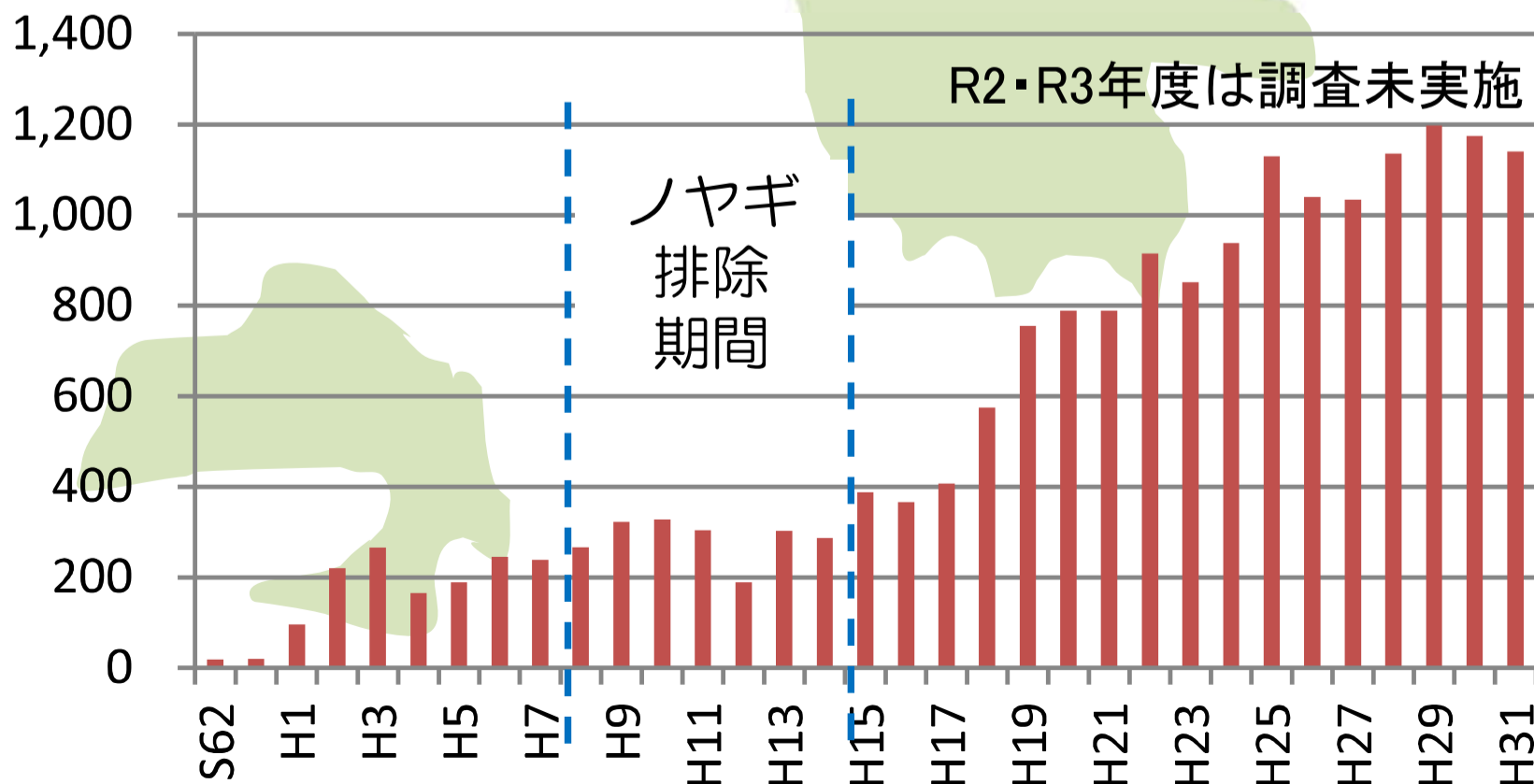
2019年 ネズミ駆除開始

(手撒き散布とベイトステーション設置
の併用)



2022年現在 ネズミ確認されず

**植生、小型海鳥類、陸鳥類、
陸産貝類、陸生甲殻類などに
良い影響**



媒島・嫁島でのクロアジアホウドリ繁殖数の変化



小笠原諸島



父島列島



母島列島

今日のスケジュール

時間	場所	内容
7:00	青灯台	<ul style="list-style-type: none">・ 集合、受付、資料の配布・ 趣旨・注意事項の説明・ スタッフ紹介・ 船で出発
10:00前	聶島 海上	<ul style="list-style-type: none">・ 船到着・ 小型船に乗り換え南浜に上陸・ 船上の待ち時間に取組予習
	聶島 浜	<ul style="list-style-type: none">・ 班ごとに自己紹介・ 待ち時間に海岸清掃
	聶島 島内	<ul style="list-style-type: none">・ 指定ルートでの視察・ 大山山頂で昼食
13:00頃	聶島 浜	<ul style="list-style-type: none">・ 小型船に乗り換えて海上の船に移動・ 待ち時間に海岸清掃
15:30	聶島 海上	<ul style="list-style-type: none">・ 船上の待ち時間に振り返り・ 船出発
17:00過ぎ	青灯台	<ul style="list-style-type: none">・ 到着次第、解散

【注意事項】

- 船からの下船時や視察時に足元が濡れたり汚れたりする場合があります。
- 万一の場合に備えて保険に加入しています。
- 聶島にトイレはありませんので、移動する船でなるべく済ませてください。視察中にトイレに行きたくなった場合はお近くのスタッフまでお声かけください。携帯トイレを用意しています。